

LCAMView for Windows

画面で見るマニュアル

第 1 章 アプリを準備する

第 2 章 カメラを利用する

第 3 章 付 録

本書では、Windows用カメラアプリ「LCAMView for Windows」について説明しています。

本ソフトウェアは機能をいち早く体験いただくためのβ版（試用版）です。
ソフトウェアに関するサポート等は一切おこなっておりません。あらかじめご承知の上、ご試用ください。
本ソフトウェアをインストールすることによって生じたいかなる損害に対しても、当社は責任を負えません。ご理解の上お試
しください。

※ カメラ本体の設置方法や操作方法につきましては、カメラに添付の取扱説明書や弊社Webページよりカメラの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

※ 本アプリではプライバシーモード、パトロール機能等、カメラの詳細な機能はご利用いただけません。

※ カメラ本体の設定と、本アプリ上の設定は連動しません。

第 1 章 アプリを準備する

Step1 アプリをインストールする	4
Step2 アプリを起動する	5
Step3 カメラを登録する	6
カメラ一覧から選択して登録する方法	6
ダイナミックDNSサービス「iobb.net」を利用してカメラを登録する方法	7

第 2 章 カメラを利用する

カメラ映像を見る.....	8
カメラを切り換える方法.....	8
カメラをパン・チルトする方法	8
映像を保存する	9
映像を録画する場合.....	10
スナップショット(静止画)を撮影する場合	10
スケジュールを設定して映像を録画する.....	11
日時でスケジュール設定する	11
曜日でスケジュール設定する	11
録画ファイルを再生する	12

第 3 章 付 録

設定画面のリファレンス 【カメラ設定】	13
カメラタブ	13
記録スケジュールタブ.....	13
オーディオタブ	13
設定画面のリファレンス 【一般設定】	14
一般タブ	14
セキュリティタブ	14
バージョンタブ	14
困ったときには	15
アンインストール方法.....	16

第1章 アプリを準備する

Windows用カメラアプリ「LCAMView for Windows」とは

複数台のカメラ映像を1つの画面で確認することができるWindows用カメラアプリです。
一度に複数台のカメラ映像を録画・操作する場合は「LCAMView for Windows」が便利です。

- ※ 本アプリではプライバシーモード、パトロール機能等、カメラの詳細な機能はご利用いただけません。
- ※ カメラ本体の設定と、本アプリ上の設定は連動しません。カメラの設定は本アプリではおこなえません。
- ※ カメラの設定や操作方法については、カメラの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

【対応OS】

Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7

【推奨スペック】※1

CPU：Intel Core i3 -6100以上、または同等以上のプロセッサ
メモリー（RAM）：4GB以上
ハードディスク※2：24GB以上の空き容量

【対応カメラ】

以下の弊社製IPカメラ

TS-WLCAM、TS-WPTCAM、TS-WPTCAM2、TS-PTCAM、TS-WLC2、TS-WLCE、TS-WRLC、TS-WRLA、
TS-WRLP、TS-WRFE

【本アプリでできること】

- 複数台のカメラ映像の同時視聴（最大16台）※3
- カメラ映像のスナップショット撮影
- カメラ映像の同時録画（最大16台）※3
- 録画ファイルの再生
- カメラのパン・チルト操作※4

- ※1 カメラ4台を同時運用する場合の推奨スペックです。安定した視聴・録画をおこなう場合は、カメラの有線LAN接続かつ十分な通信ができる環境をご用意ください。
- ※2 長時間の録画をおこなう場合は、NASや大容量のハードディスクをご用意ください。
- ※3 同時に使用するカメラの台数が多いほど、必要になるPCスペックが高くなります。
- ※4 TS-WPTCAM、TS-WPTCAM2、TS-PTCAM、TS-WRFEのみ可能です。

準備すること

本アプリをご利用になる前に、以下の準備をお願いします。

● カメラの設置

ご利用のパソコンからWebブラウザを使用し、ライブ映像を見られる状態にしておいてください。

※ カメラの設置方法については、カメラに添付のマニュアルまたは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

● カメラのMACアドレスの確認

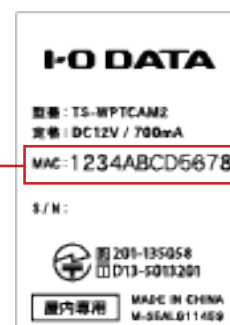
カメラの登録には管理者パスワードが必要です。

管理者パスワードの出荷時設定はカメラのMACアドレスです。

MACアドレスはカメラに貼付のシール上に記載している12桁の英数字です。

- ※ パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードをご用意ください。
- ※ TS-WRLP、TS-WRLA、TS-WRFEでは、必ず管理者パスワードの変更をおこなってください。管理者パスワードがカメラのMACアドレス（出荷時設定）のままでは映像を表示することができません。パスワードの変更方法については、カメラの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

（例：TS-WPTCAM2の場合）



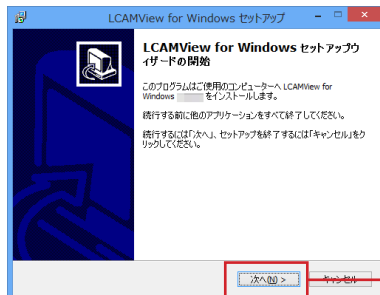
Step1 アプリをインストールする

1 [LCAMView_Setup_xxxx (.exe)] をダブルクリック

※ “xxxx” には数字が入ります。

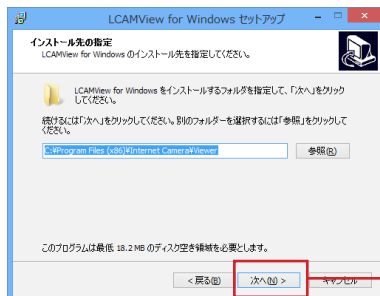
※ ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、[はい] または [許可] をクリック

2



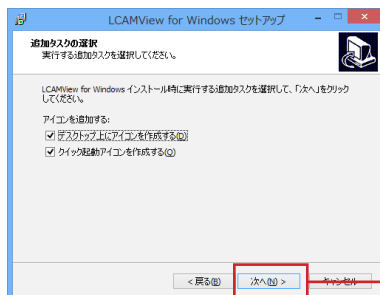
【次へ】をクリック

3



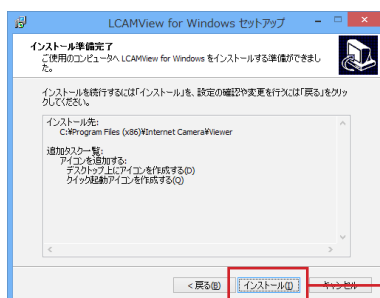
【次へ】をクリック

4



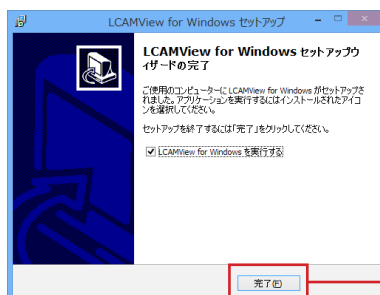
【次へ】をクリック

5



【インストール】をクリック

6



【完了】をクリック

以上で本アプリのインストールは完了です。[次ページ「Step2 アプリを起動する」](#)へお進みください。

Step2 アプリを起動する

デスクトップ上にある [LCAMView for Windows] アイコンをダブルクリックして、起動します。



以上で本アプリの起動は完了です。[次ページ「Step3 カメラを登録する」](#)へお進みください。

画面の概要

ライブ画面

チャンネルに登録したカメラの映像を表示します。

※ 映像をクリックすると、パン・チルトします。
(パン・チルト対応カメラの場合)

※ 映像をドラッグ&ドロップすると、表示する順番を変更することができます。

アプリを最小化

アプリを閉じる

ログを表示

録画開始

クリックすると、登録したすべてのカメラの録画を開始します。
もう一度クリックすると録画を停止し、保存します。

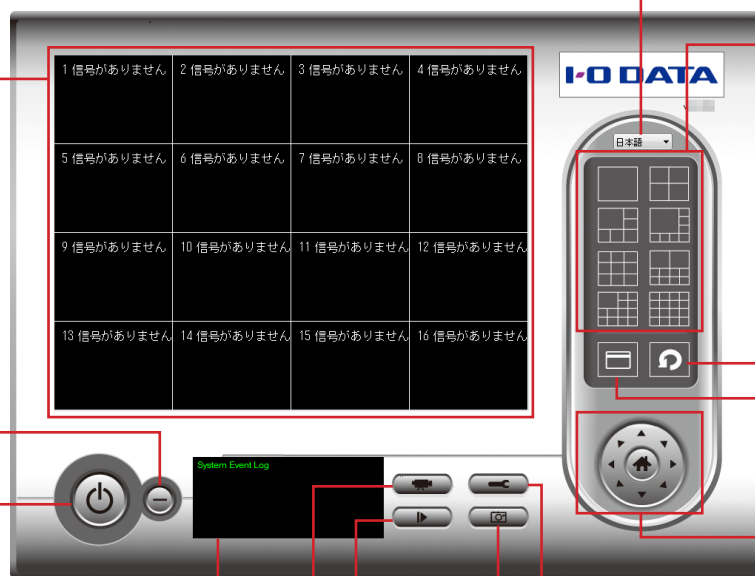
プレイバック

録画した映像を検索し、再生します。

スナップショット

クリックすると、表示されている映像（静止画）を撮影し、保存します。

※ [日本語] をご使用ください。



カメラの切り換え

ライブ画面に表示するカメラの台数を切り換えます。
※ 最大16台まで表示可能

カメラの自動切り換え

クリックすると、ライブ画面に表示するカメラを自動的に切り換えます。

全画面表示

カメラの映像を全画面表示します。
Escキーで元に戻ります。

パン・チルト操作ボタン

カメラを上下左右に動かします。
🏠 をクリックすると設定した位置（ホームポジション）に戻ります。

※パン・チルト対応カメラの場合

設定

本アプリの設定がおこなえます。

カメラ設定：カメラの登録やスケジュール設定、オーディオ設定などがおこなえます。

一般設定：映像の保存先の設定や本アプリ起動時のパスワード設定などがおこなえます。

※ 設定については「[設定画面のリファレンス](#)」14ページをご参照ください。

※ カメラ本体の設定と、本アプリ上の設定は連動しません。

Step3 カメラを登録する

カメラを本アプリに登録します。ご利用環境により登録方法が異なります。

※ カメラは16台まで登録できます。

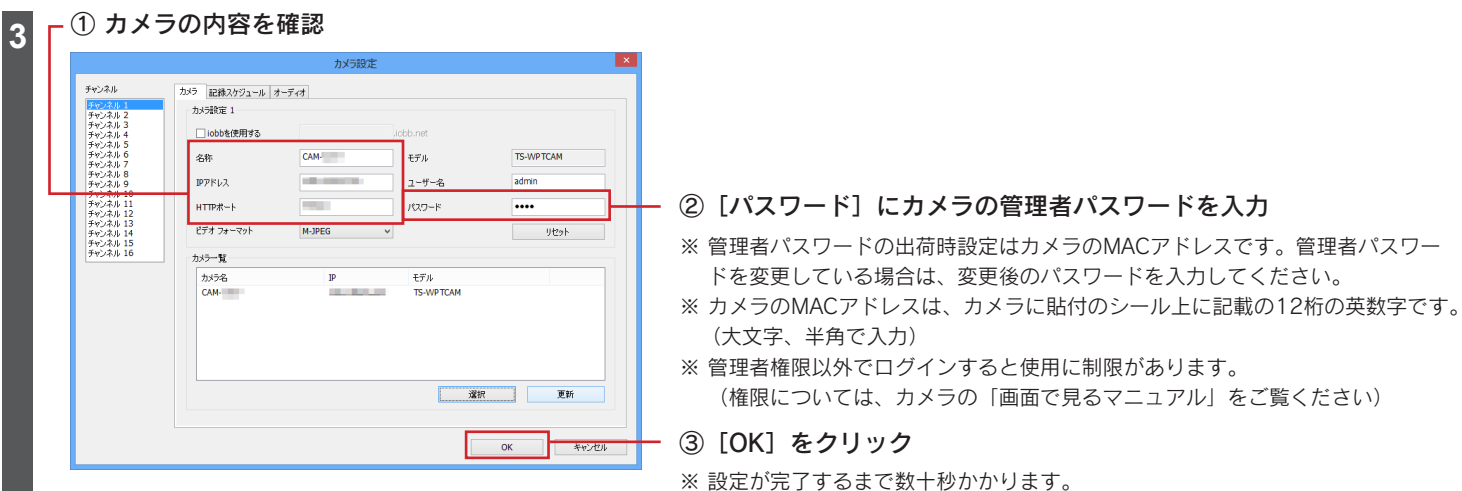
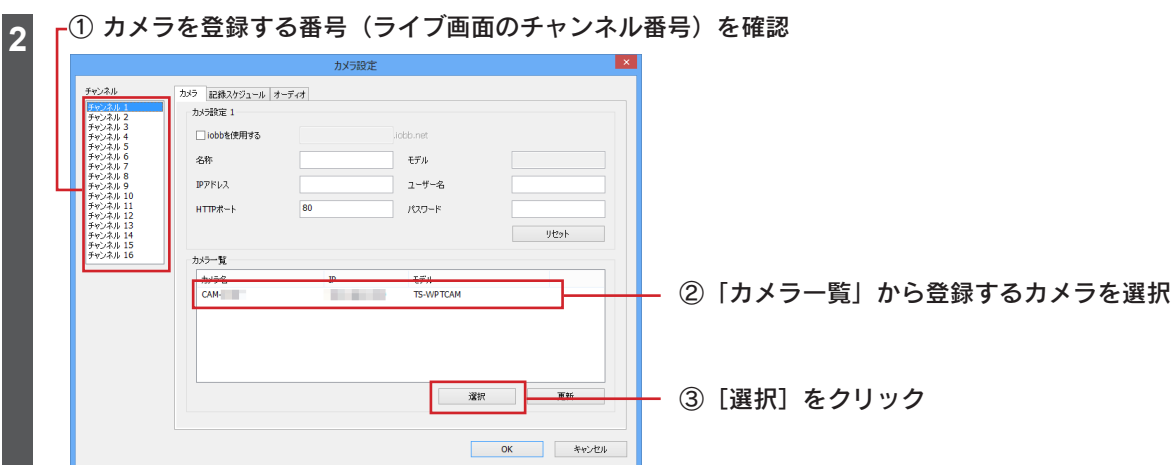
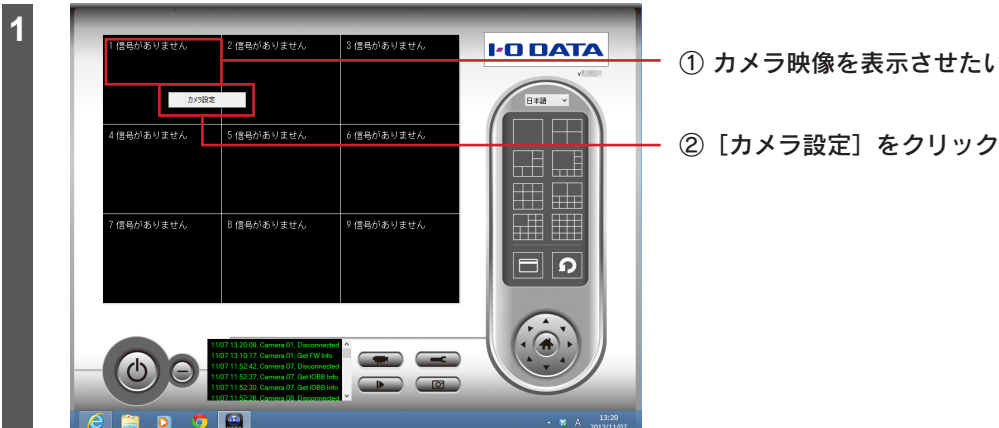
次ページ参照

外出先のパソコンからカメラにアクセスする場合

本アプリをご利用のパソコンと同じネットワーク上にカメラがある場合

下記参照

カメラ一覧から選択して登録する方法

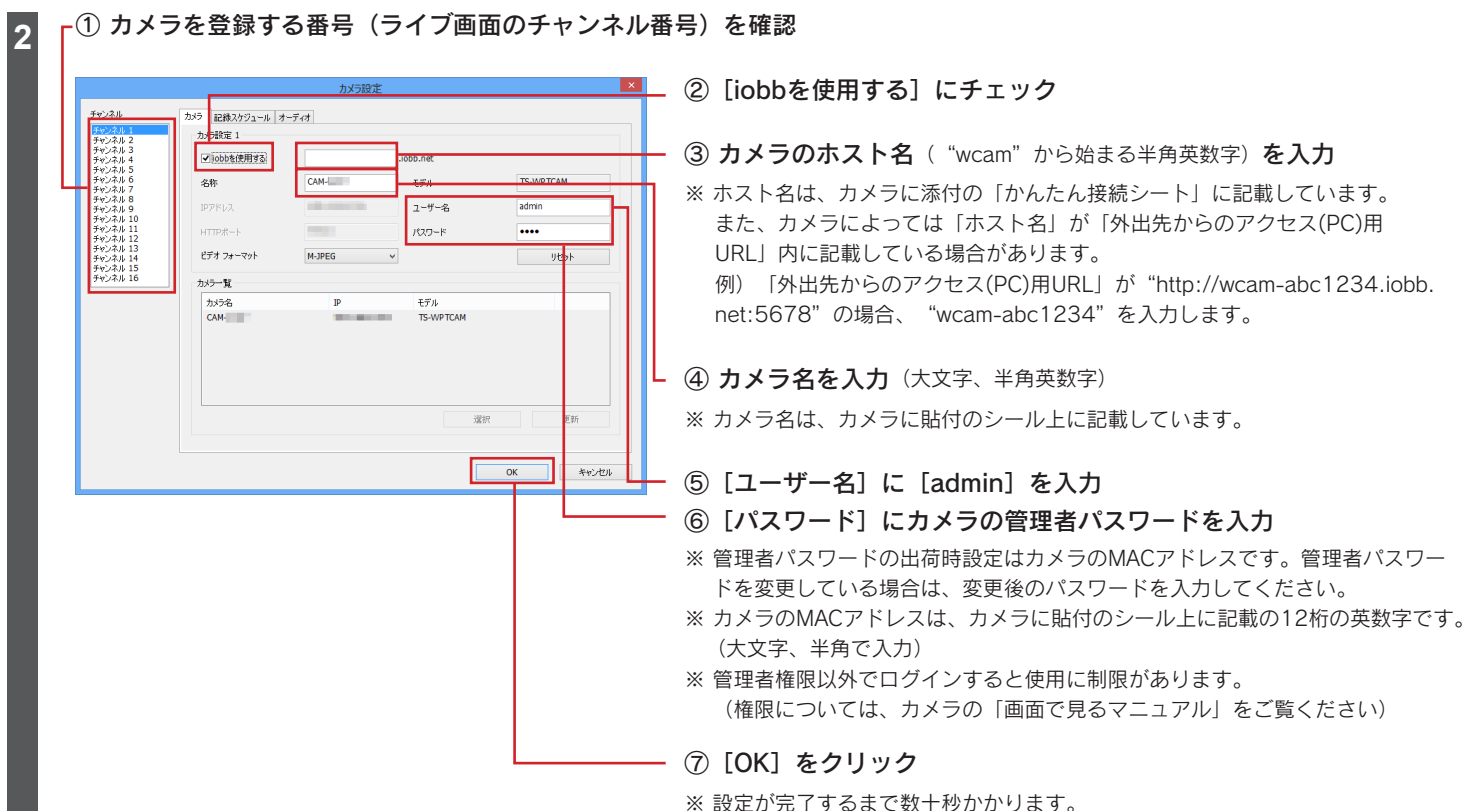


カメラの映像が表示されます。以上でカメラの登録は完了です。

ダイナミックDNSサービス「iobb.net」を利用してカメラを登録する方法

外出先のパソコンからカメラにアクセスする場合は、カメラ側で設定しているダイナミックDNSサービス「iobb.net」のホスト名を利用して登録します。

※ ご利用のパソコンと同じネットワーク上にカメラがある場合でも、本手順でカメラを登録することができます。



カメラの映像が表示されます。以上でカメラの登録は完了です。

第2章 カメラを利用する

カメラ映像を見る

本アプリを起動すると、登録済みのカメラのライブ映像が表示されます。



カメラを切り換える方法

クリックすると、ライブ画面に表示するカメラの台数を切り換えます。

※ 最大16台まで表示可能



クリックすると、ライブ画面に表示するカメラを自動的に切り換えます。

カメラをパン・チルトする方法

アプリ上でカメラを上下・左右に動かすことができます。カメラの映像をクリックすると、クリックした方向にカメラが動きます。



クリックした矢印の方向にカメラが動きます。

🏠をクリックすると、設定した位置（ホームポジション）に戻ります。

※ パン・チルト対応カメラの場合のみ動作します。

※ カメラの回転速度やパン・チルトの範囲設定は、カメラの設定画面でおこないます。詳しくはカメラの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

映像を保存する

映像を保存する手順を説明します。

映像の保存フォルダーの設定方法

映像の保存フォルダーは初期設定で以下に設定されています。

C:\¥Users¥（ユーザー名）¥Documents¥Data

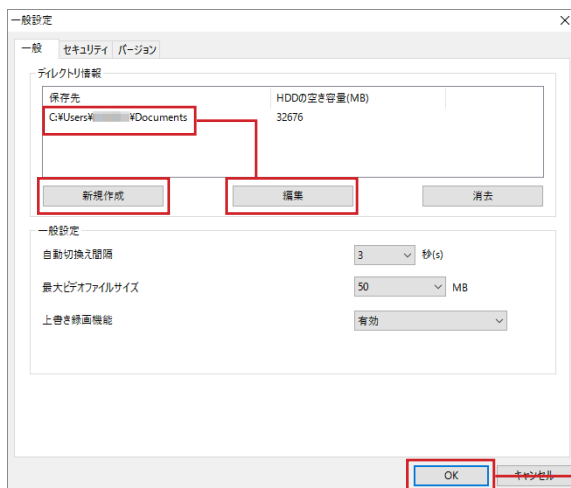
保存フォルダーの変更は、以下の手順でおこないます。映像を撮影する前に設定してください。

※ カメラ本体の設定と、本アプリ上での設定は連動しません。本アプリでの映像の保存先の設定は、本アプリ上でおこなってください。

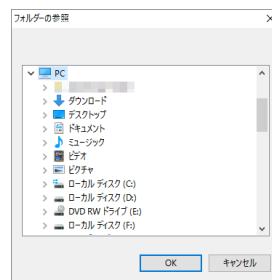
※ ネットワークドライブを保存フォルダーに設定することも可能です。ご利用のパソコンからネットワークドライブに接続可能な状態にしておいてください。



2 ① 新しい保存先を登録する場合は[新規作成]をクリック、
現在の保存先を変更する場合は保存先を選択して[編集]をクリック



② 保存先フォルダーを選択



③ [OK] をクリック

※ 保存先は3つまで登録できます。

保存先を複数登録する場合は、保存先ごとに異なるHDDを設定してください。

1つ目の保存先の容量が足りなくなると、2つ目の保存先に保存します。[上書き録画機能]が有効の場合、保存先に登録したすべてのHDDの容量が足りなくなると、1つ目のHDDの古い映像ファイルを削除して撮影をおこないます。

以上で保存先フォルダーの設定は完了です。

映像を録画する場合

1 本アプリを起動し、カメラのライブ映像を表示する

2 ① 録画するカメラの映像を右クリック



② 「記録を開始」をクリック

3 ① 録画している状態でカメラ映像を右クリック



② 「記録を停止」をクリック

設定している保存フォルダーに保存されます。

以上で映像の録画は完了です。

録画した映像の再生方法については、12 ページ「録画ファイルを再生する」をご覧ください。

スナップショット(静止画)を撮影する場合

1 本アプリを起動し、カメラのライブ映像を表示する

2 撮影するカメラの映像をクリック



3



撮影したいタイミングで、
「スナップショット」アイコンを
クリック

以上でスナップショット（静止画）の撮影は完了です。

設定している保存フォルダーに保存されます。

（前ページ「映像の保存フォルダーの設定方法」参照）

一斉録画する方法

録画開始ボタンを押すと、登録しているすべてのカメラの録画を開始します。もう一度押すと、録画を停止します。



スケジュールを設定して映像を録画する

録画のスケジュールを設定することができます。日時で設定する方法と曜日で設定する方法があります。

※ スケジュール録画は、本アプリが起動している間のみ動作します。

※ スケジュール録画を止める場合は、設定したスケジュールを削除してください。

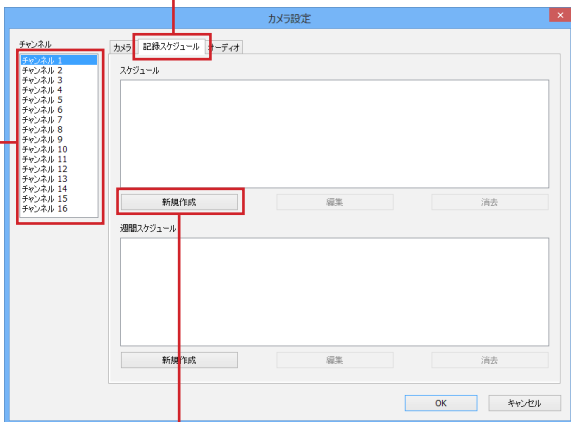
日時でスケジュール設定する

- 1 本アプリを起動し、カメラのライブ映像を表示する

- 2 「[設定] アイコン→ [カメラ設定]」の順にクリック

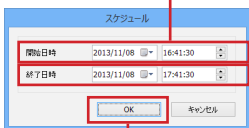


- 3 ① カメラを登録している番号を選択
② 「[記録スケジュール]」タブをクリック



- ③ 「[新規作成]」をクリック

- 4 ① 録画を開始する日時を選択
② 録画を終了する日時を選択
③ 「[OK]」をクリック



- 5 「[OK]」をクリック

以上で設定完了です。

設定した日時になると自動的に録画します。

録画した映像の再生方法については、[12 ページ「録画ファイルを再生する」](#)をご覧ください。

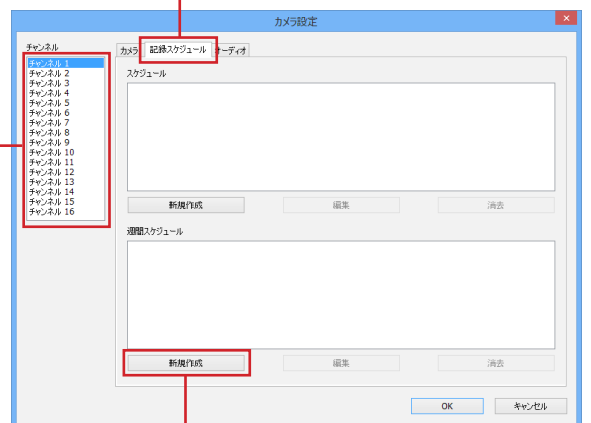
曜日でスケジュール設定する

- 1 本アプリを起動し、カメラのライブ映像を表示する

- 2 「[設定] アイコン→ [カメラ設定]」の順にクリック

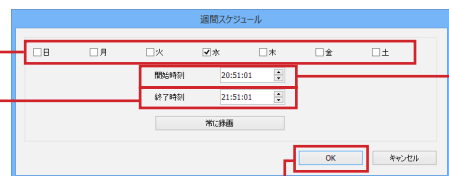


- 3 ① カメラを登録している番号を選択
② 「[記録スケジュール]」タブをクリック



- ③ 「[新規作成]」をクリック

- 4 ① 録画する曜日を選択
② 録画を開始する時間を選択
③ 録画を終了する時間を選択
④ 「[OK]」をクリック



※ 「常に録画」をクリックすると、すべての曜日にチェックします。

- 5 「[OK]」をクリック

以上で設定完了です。

設定した曜日・日時になると自動的に録画します。

録画した映像の再生方法については、[12 ページ「録画ファイルを再生する」](#)をご覧ください。

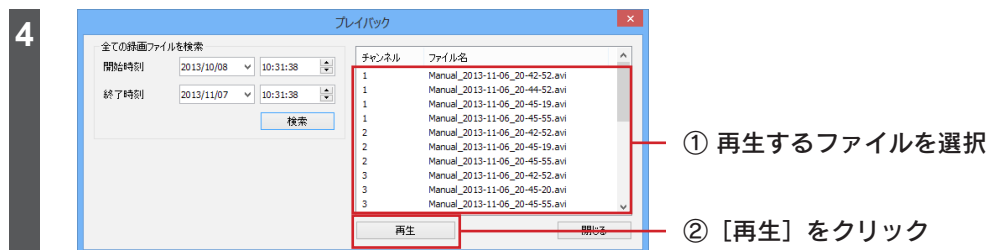
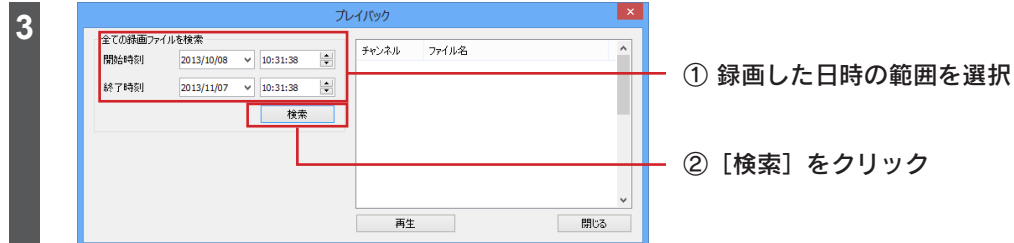
録画ファイルを再生する

録画した映像を検索し、再生する方法を説明します。映像は設定している保存フォルダーに保存されます。

※ 映像は設定している保存フォルダーに保存されています。（9 ページ「映像の保存フォルダーの設定方法」参照）
初期設定では以下に保存されます。

C:\¥Users¥（ユーザー名）¥Documents¥Data

1 本アプリを起動する



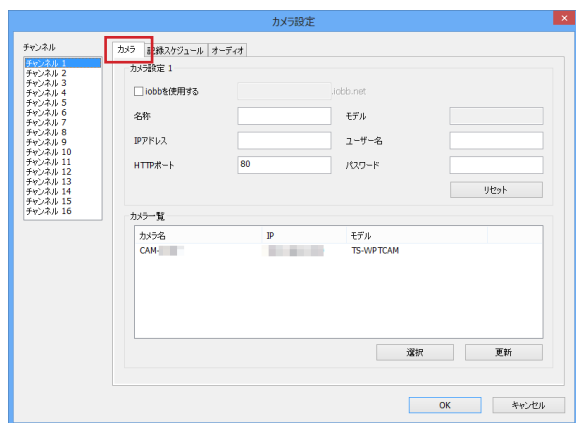
お使いのパソコンにインストールされているメディアプレーヤーが起動し、再生が始まります。
以上で、録画ファイルの再生は完了です。

設定画面のリファレンス 【カメラ設定】

設定画面  の「カメラ設定」について説明します。

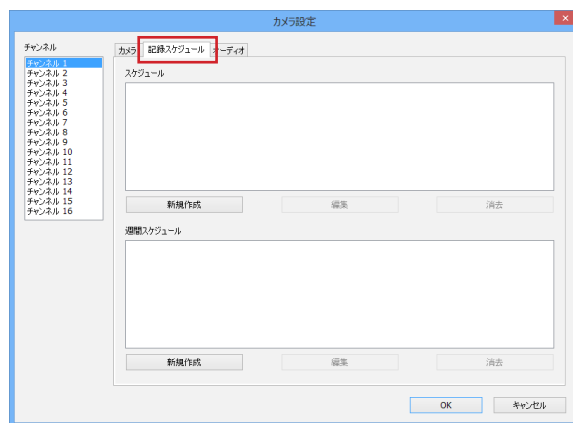
- ※ 本アプリではプライバシーモード、パトロール機能等、カメラの詳細な機能はご利用いただけません。本アプリでご利用いただけない機能については、カメラの設定画面から操作してください。
- ※ カメラ本体の設定と、本アプリ上での設定は連動しません。カメラの設定は本アプリではおこなえません。
- ※ カメラの設定や操作方法については、カメラの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

カメラタブ



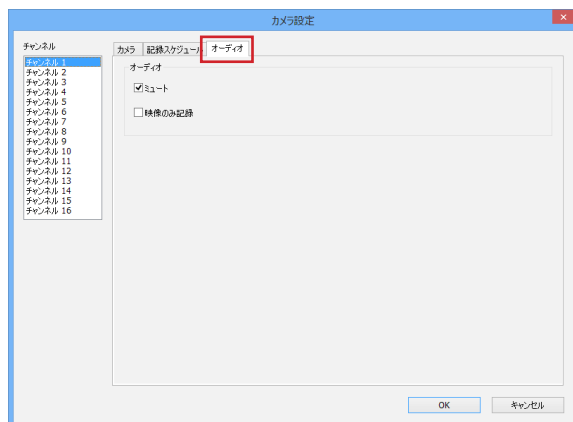
チャンネル	カメラを登録する番号（ライブ画面のチャンネル番号1～16）を選択します。
カメラ設定	カメラの登録内容を入力します。 [リセット] を押すと、入力内容が消去されます。
	☐ iobbを使用する 外出先のパソコンからカメラにアクセスする場合に使用します。
	名称 カメラの名前を入力します。
	IPアドレス カメラのIPアドレスを入力します。
	HTTPポート カメラのHTTPポートを入力します。
	モデル カメラの型番を表示します。
	ユーザー名 カメラのユーザー名を入力します。
	パスワード カメラのユーザー名のパスワードを入力します。
カメラ一覧	ご利用のパソコンと同じネットワーク上にあるカメラを検出して表示します。 カメラ名→[選択]の順にクリックすると「カメラ設定」にカメラの登録内容が入力されます。

記録スケジュールタブ



チャンネル	スケジュールを設定するカメラの登録番号（ライブ画面のチャンネル番号）を選択します。
スケジュール	日時でスケジュール設定します。 [新規作成]：新規にスケジュールを設定します。 [編集]：スケジュールを変更します。 [消去]：スケジュールを削除します。
週間スケジュール	曜日でスケジュール設定します。 [新規作成]：新規にスケジュールを設定します。 [編集]：スケジュールを変更します。 [消去]：スケジュールを削除します。

オーディオタブ



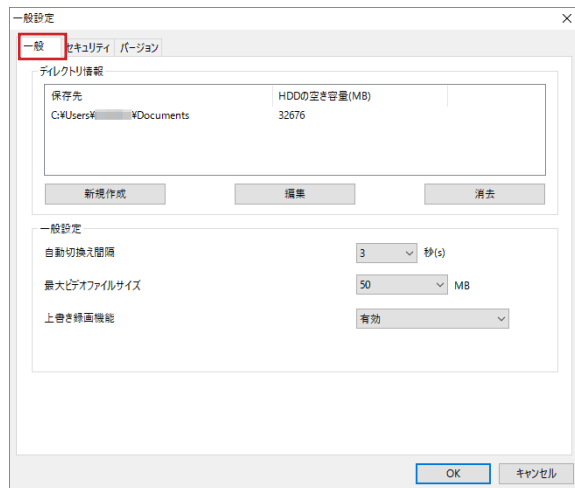
チャンネル	オーディオを設定するカメラの登録番号（ライブ画面のチャンネル番号）を選択します。
オーディオ	音声の設定をします。 ※ 一面面表示の場合のみ、カメラ映像の音声は聞こえます。
	ミュート カメラ映像の音声を消音にします。録画した場合、音声は録音されません。
	映像のみ記録 録画した場合、音声は録音されません。ライブ映像には音声は出力されます。

設定画面のリファレンス 【一般設定】

設定画面  の「一般設定」について説明します。

- ※ 本アプリではプライバシーモード、パトロール機能等、カメラの詳細な機能はご利用いただけません。本アプリでご利用いただけない機能については、カメラの設定画面から操作してください。
- ※ カメラ本体の設定と、本アプリ上での設定は連動しません。カメラの設定は本アプリではおこなえません。
- ※ カメラの設定や操作方法については、カメラの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

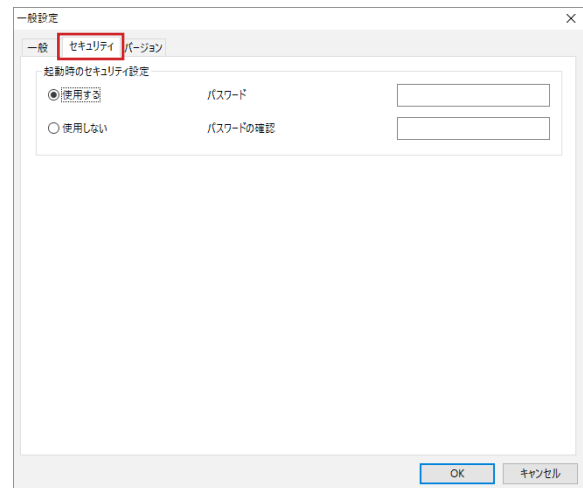
一般タブ



ディレクトリ情報	映像の保存先を設定します。	
	保存先	撮影したデータの保存先を設定します。 設定したフォルダー内の「Data」フォルダーに保存されます。 ▼初期設定 C:¥Users¥（ユーザー名）¥Documents ※ 保存先は3つまで登録できます。保存先を複数登録する場合は、保存先ごとに異なるHDDを設定してください。 1つ目の保存先の容量が足りなくなると、2つ目の保存先に保存します。[上書き録画機能]が有効の場合、保存先に登録したすべてのHDDの容量が足りなくなると、1つ目のHDDの古い映像ファイルを削除して撮影をおこないます。
	HDDの空き容量	設定した「保存先」の空き容量を表示します。
一般設定	最大ビデオファイルサイズ	1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。 (50/100/200/300/500MBから選択)
	自動切換え間隔	自動切換え表示時のカメラ映像が切替わる間隔を設定します。 (1/3/5/10秒から選択)
	上書き録画機能	[有効]にすると、容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して（上書きして）、録画を続けます。 ※ 保存先を複数登録している場合、最初の保存先の空き容量が無くなると、次の保存先に録画をおこないます。

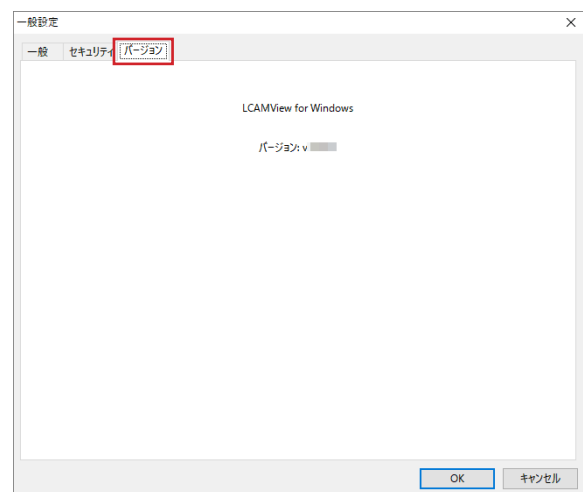
- ※ CドライブなどのOS（Windows）がインストールされているHDDを保存先に設定したときは、容量に注意してください。容量が無くなるまで録画をすると、情報の損失やパフォーマンス低下が起る可能性があります。

セキュリティタブ



起動時のセキュリティ設定	[使用する]を選択すると、本アプリの起動にパスワードをかけることができます。	
	パスワード	本アプリの起動に必要なパスワードを設定します。
	パスワードの確認	[パスワード]と同じ内容を入力します。

バージョンタブ



バージョン	本アプリのバージョン情報を表示します。
-------	---------------------

困ったときには

以下より該当するトラブルの状態を参照してください。

Q カメラの映像が表示されない

A
1

ご利用のパソコンのWebブラウザからカメラ映像が表示されるかどうかご確認ください。

※ Webブラウザからカメラ映像を確認する方法については、カメラに添付のマニュアルまたは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

● Webブラウザからカメラ映像が表示できて、本アプリでは表示できない場合

⇒ カメラの登録内容が間違っています。カメラのパスワード等を確認し、設定し直してください。

※ カメラの登録内容の変更については、[6 ページ「Step3 カメラを登録する」](#)の手順でおこないます。

● Webブラウザからカメラ映像が表示できない場合

⇒ Webブラウザからカメラ映像を表示できるように設定してください。また、以下の対処をご確認ください。

※ カメラの「画面で見るマニュアル」の「困ったときには」もあわせてご参照ください。

【対処1】

カメラを接続したネットワーク環境でルーターが2重になっている場合は、外部からカメラにアクセスができません。例えば、インターネット回線のモデムにルーター機能があり、更にブロードバンドルーターを接続している場合はルーター機能が2重になっている場合があります。どちらか一方のルーター機能を無効にしてご確認ください。

【対処2】

ご利用のルーターでUPnP機能が有効であることを確認してください。

また、ルーターのUPnP機能が有効に設定されている状態でカメラにアクセスができない場合は、ルーター側で手動でポート開放設定をおこないアクセスできるかどうか、ご確認ください。

※ ルーターのポートの開放について

ポートの開放について詳しくはルーターの取扱説明書またはメーカー様にてご確認ください。

また、ポート開放には、カメラのポート番号とIPアドレスの情報がが必要です。

- ・ ポート番号：カメラに添付「かんたん接続シート」の「ポート番号」を確認
- ・ IPアドレス：カメラと同一ネットワーク内にあるパソコンから「MagicalFinder」を起動して確認

A
2

カメラの設定画面で以下の設定を変更した場合は、本アプリ上でもカメラの登録内容の変更をおこなってください。

- ・ iobb.netのホスト名、ユーザー名、パスワードを変更した場合
- ・ iobb.netを利用していない場合で、IPアドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを変更した場合

※ カメラの登録内容の変更については、[6 ページ「Step3 カメラを登録する」](#)の手順でおこないます。

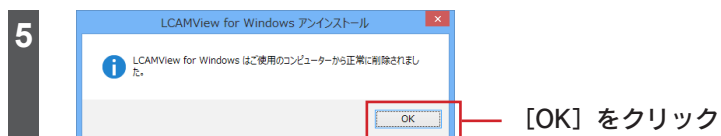
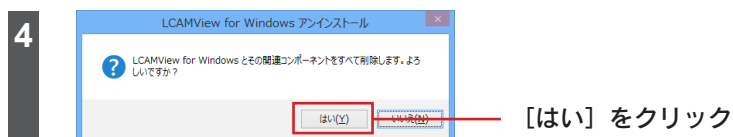
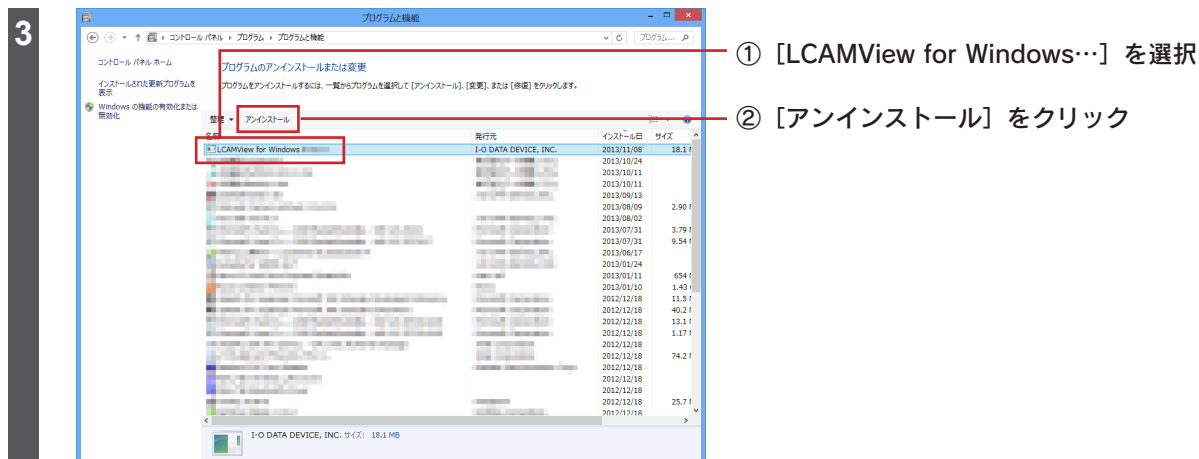
アンインストール方法

本アプリのアンインストール（削除）方法について説明します。必要に応じてご覧ください。



2 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール]（または[プログラムの追加と削除]）の順にクリック

※Windows 8の場合：チャームバーより[検索] → [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール]の順にクリック



6 パソコンを再起動する

以上で本アプリのアンインストールは完了です。

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWebページをご確認ください。

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**
ホームページ <http://www.iodata.jp/>